

MACF礼拝説教要旨

2020.11.08

ローマの信徒への手紙8章32節

わたしたちすべてのために、その御子をさえ惜しまず死に渡された方は、御子と一緒にすべてのものをわたしたちに賜らないはずがありませんか。

1) 御子をさえ惜しまずに死に渡された父なる神

「神は愛である」と言われています。パウロはここで「父なる神はその御子をさえ惜しまず死に渡された方」と言っています。

神は私たちが祝福するために「惜しまずに」行動を起こしているということに心を向けたいと思います。

惜しみながら「私たちに行動を示す」とすれば、私たちは愛ということについて、なんとなく疑いを持ちたくなります。

神は、私たちに対して「惜しまずに」その愛と慰め、励ましなどを提供しようとしています。

まず、神の「惜しげなく示す愛」をしっかり心に留めたいと思います。

神は条件をつけずに「惜しまずに死にわたされた」ことで救いがもたらされ恵みが示されました。

「もっと奉仕せよ」「もっと献金せよ」「もっと頑張れ」「もっと伝道しろ」と恵みの条件を示しているわけではありません。

神への信頼、神の提供して下さった祝福を受け取るだけ。

まさに、「惜しみなく与える神」なのだとパウロは語るのです。

2) 与える・支える・祝福する心に満ちている神

実は、神はさまざまな行動を起こしておられます。

マタイ 5:45 あなたがたの天の父の子となるためである。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである。

マタイ 6:4 あなたの施しを人目につかせないためである。そうすれば、隠れたことを見ておられる父が、あなたに報いてくださる。」

マタイ 6:30 今日は生えていて、明日は炉に投げ込まれる野の草でさえ、神はこ

のように装ってくださる。まして、あなたがたにはなおさらのことではないか、信仰の薄い者たちよ。

などの言葉がありますが、「報いてくださる」「与えてくださる」「養ってくださる」など積極的に働きかけをしてくださっています。身体の細胞が、身体を生かそうと積極的に働いていますが、その際の基本的な3点は「生きたい」「知りたい」「仲間になりたい」ということです。神は、私たちに対して日々、「生かしたい」「知らせたい」「ご自分の家族にして深い交わりの中に生かしたい」という思いを示しつつ、恵みを与え、赦しをもたらす生かそうとしています。

3) すべてのものを・・・

私たちに必要なすべてのもの、神の栄光を表しつつ生きるための、すべてを神は喜んで私たちに与えてくださいます。与えること、祝福することを喜びとしている神は、受け取り手である私たちが、その祝福に気づくことを待っている。

私たちが持っている「神様についてのイメージ」の中に「惜しみなく与える神」「すべてのものを与えてくださる神」という感覚を持っておられるでしょうか。私たちの中に「怖い神」「出し惜しみをするケチな神」というイメージはありませんか。もちろん、裁きを実行する神でもあるのですが、その裁きをイエス様の十字架によって決済したわけです。神は、私たちに対する深い愛があり、私たちに対する恵み深い思いが満ち溢れています。

++

ローマの信徒への手紙8章32節

わたしたちすべてのために、
その御子をさえ惜しまず死に渡された方は、
御子と一緒にすべてのものをわたしたちに
賜らないはずがありませんか。
ん